

標十五句

松岡隆子選

ゆつくりと梅雨の道より梅雨のバス
図書館の赤きともしび長崎忌
盆三日月を仰ぎて何もせず
けふも又暑さに耐へし暦剥ぐ
夜も白き雲飛ぶ踊太鼓かな
八月の暑さを話し電話切る
夏休み一つ扉に子と帰り
阿波人と一期一会を踊るかな
七夕竹留学生の輪の中に
東京へ帰す白靴揃へけり
まづ気候不順を嘆き盆の客
揺れてゐる草より秋の立ちにけり
八月の水一滴の重さかな
町内の白粉花を見て回る
諸々の草の中でも猫じやらし

生方ふよう
川上昌子
高橋愛子
渡辺あつ子
平沢千恵子
濱地恵理子
石崎章子
植草京子
広渡詩乃
室井千鶴子
刈屋ひで子
醍醐喜美枝
小村絹代
梶浦道成
長束フミ子